

## 会誌「情報処理」56巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

応募条件 ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。

- ・A4判（天地 297mm× 左右 210mm）4色フルカラー。
- ・描画手法は問いません。
- ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
- ・簡単なデザインコンセプトを添えてください。
- ・応募資格は問いません。

注意事項 ・応募作品は返却いたしません。

- ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
- ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します。
- ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
- ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 2014年11月5日（水）（必着）

結果通知 2014年11月下旬

賞 金 採用者1名に5万円

送付先／照会先 一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、5代目編集長就任にあたって「いよいよ『時代』がやってきた」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■テーマが研究だけでないという点に驚きました。塚本先生の所信表明(?)を拝見し、これから面白くなりそうだと思います。今後も頑張ってください。(除補由紀子)

特別解説「ビットコインの構造と制度的課題」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■非常にタイムリーな記事で、同時に技術面をきちんと押さえていたから良かった。(椋木雅之)

■記事は難解だったが、これをきっかけに自分で調べた。それにより、ビットコインが何たるかを知らずに悪と決め付けていたことを知り衝撃を受けた。(匿名希望)

■社会的に話題のテーマをタイムリーに扱っている点はよいと思います。ただ、分量的に説明が十分とは言えないので、興味を持った読者向けに、より詳細な文献等の紹介があればさらに良かったと思います。(渡辺泰之)

特集「次世代ライブラリ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■カーリルと同様なことを大手のCDレンタル屋がやっています。借りるのに片や無料で片や有料です。リブライズは、以前に問題となったP2Pによるファイル共有の本版のような感じがします。著作権が有効な間は、こうしたところも管理したほうがよいと思います。(遠藤佳宏)

■電子書籍に関する記事は、多くの人に直接かわりがあり、急激に発展してきた分野であるため、とても興味深く読ませていただきました。(小淵友美)

「2. リブライズ」

■技術からサービスへの発展へのビジョンが得られたため良かった。(小野田賢人)

「5. クラウドソーシングを先取りした青空文庫の軌跡」

■研究だけでは見えてこない普及の大変さが伝わってくることで、実務に携わる身からすると専門外であっても共感できる場所が多々あり、研究を進める方々には、開発して始めた後の泥臭い大変さを知る良い機会になったのではと思う。(除補由紀子)

■ただの日記としか感じず発展性を感じない。

(小野田賢人)

「6. MOOC と大学教育のイノベーション」

■MOOCを導入する際の論点がまとめられて良かった。(匿名希望)

■「教員が助手になってしまう」という懸念は重要な問題提起だ。著者が指摘する通り、これで終わりというものではなく試行錯誤が期待される。

(牛島和夫)

解説「定理証明支援系に基づく形式検証」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■前半は多くの実例も含まれていて興味深く読んだ。しかし、後半はフォローしきれなかった。

(匿名希望)

教育コーナー「ぺた語義：インターネットの副作用と情報教育」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■大衆(非専門家)のICT利用への警告を扱っている点良かった。(酒井保良)

教育コーナー「ぺた語義：農学系ゲノム科学領域における情報科学・統計科学教育の取り組み」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「解説」という扱いだったが、「事例紹介」ではと思った。(匿名希望)

連載「ビブリオ・トーク：Computer Architecture, 5th Edition A Quantitative Approach」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■本来の特徴である定量的アプローチや、活用事例についての紹介が欲しかった。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■会誌に載せる記事はできるだけ平易な内容とし、難しい内容の記事は他の書籍に任せてもらいたい。(稲本 康)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をいただきました。今後の参考にいたします。

■巻頭コラムは今までの通り幅広い方をお願いするのが良いと思います。スポーツ選手、漫画家、医者、サラリーマン、いろいろあって面白いです。(匿名希望)

■さまざまなサービスとそれを支えるソフトウェア

／ハードウェアを取り上げていただければと思います。(菅野純一)

■(1) ICT 大衆化が円滑に進むために、本会は、何をするか？(2)「情報飽食時代の思考停止」を回避するためには、なにをどうすればよいのか？(社会学者や心理学者を招いた誌上討論など)(酒井保良)

■証明関係の記事をもっと。(五十嵐實子)

■デスクトップコンピュータの今後について。(戸塚 厚)

■IEEEのJim Blinn コーナーのようなためになる学術的文章がほしい。(高木 淳)



【本欄担当 尾張正樹, 北山大輔/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F

情報処理学会 会誌編集部門

E-mail : [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax (03) 3518-8375

<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ  
ください!



# IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「娯楽の離散数理論」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-L.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-L.html</a>	7月31日(木)		
	論文誌「新しい社会を創る情報システム」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-M.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-M.html</a>	8月11日(月)		
	論文誌「Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2014」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-R.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-R.html</a>	9月5日(金)		
	論文誌「社会に浸透していくコンピュータセキュリティ技術」特集への論文募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-V.html">http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/15-V.html</a>	11月28日(金)		
7月15日(火)	連続セミナー 2014 第2回「ウェアラブルが切り開くIT新潮流」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/seminar/2014/index.html</a>		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
7月21日(月)	第99回数理モデル化と問題解決研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps99.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps99.html</a>	4月19日(土)	当日のみ	Monte Carlo Resort (ラスベガス)
7月22日(火)～	第176回知能システム研究発表会	6月12日(木)	当日のみ	沖縄科学技術 大学院大学
7月23日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics176.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics176.html</a>			
7月24日(木)～	第160回マルチメディア通信と分散処理研究発表会	5月28日(水)	定員になり次第	平泉ホテル武蔵坊
7月25日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps160.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps160.html</a>		会場(宿)への 宿泊が原則*必須*	
7月24日(木)～	第94回デジタルドキュメント研究発表会	6月24日(火)	当日のみ	東京工業大学キャンパス イノベーションセンター
7月25日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd94.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dd94.html</a>			
7月24日(木)～	第102回音声言語情報処理研究発表会	5月8日(木)	当日のみ	ホテル花巻 (岩手県花巻市)
7月26日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp102.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp102.html</a>			
7月27日(日)	2014年度関西支部セミナー「小中学生のための情報科学教室」 <a href="http://kansai.ipsj.or.jp/2014schoolchildren/">http://kansai.ipsj.or.jp/2014schoolchildren/</a>		7月18日(金) 定員になり次第	近畿大学 本部キャンパス
7月28日(月)	第203回計算機アーキテクチャ研究発表会 (SWoPP新潟2014) <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc203.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc203.html</a>	5月13日(火)	当日のみ	朱鷺メッセ 新潟コン ベンションセンター
7月28日(月)～	第130回システムソフトウェアとオペレーティング・	5月13日(火)	当日のみ	朱鷺メッセ 新潟コン ベンションセンター
7月29日(火)	システム研究発表会 (SWoPP新潟2014) <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os130.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os130.html</a>			
7月28日(月)～	第43回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会	6月11日(水)	当日のみ	国立情報学研究所
7月29日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi43.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ubi43.html</a>			
7月28日(月)～	第145回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会	5月13日(火)	当日のみ	朱鷺メッセ 新潟コン ベンションセンター
7月30日(水)	(SWoPP新潟2014) <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc145.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc145.html</a>			
7月30日(水)	第100回プログラミング研究発表会 (SWoPP新潟2014) <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro100.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro100.html</a>	5月13日(火)	当日のみ	朱鷺メッセ 新潟コン ベンションセンター
7月31日(木)～	iDB Workshop 2014 <a href="http://db-event.jp.org/idb2014/">http://db-event.jp.org/idb2014/</a>			九州大学 医学部百年講堂
8月2日(土)				
8月1日(金)	第85回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm85.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm85.html</a>	6月12日(木)	当日のみ	千葉工業大学
8月1日(金)～	第159回データベースシステム・	6月9日(月)	当日のみ	九州大学
8月2日(土)	第115回情報基礎とアクセス技術合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs159ifat115.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dbs159ifat115.html</a>			医学部百年講堂
8月2日(土)	第103回人文科学とコンピュータ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch103.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch103.html</a>	6月2日(月)	当日のみ	兵庫県立歴史博物館
8月4日(月)～	第159回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	6月12日(木)	当日のみ	岩手県花巻温泉 ホテル紅葉館
8月5日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci159.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci159.html</a>			
8月4日(月)～	2014年度教員免許更新講習 <a href="http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU201408.html">http://www.ipsj.or.jp/annai/committee/education/KOSHU201408.html</a>		7月31日(木) 定員になり次第	東京大学 駒場キャンパス
8月6日(水)				
8月21日(木)～	平成26年度電気関係学会東北支部連合大会開催案内			山形大学工学部
8月22日(金)	<a href="http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/">http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/</a>			
8月22日(金)～	第33回エンタテインメントコンピューティング研究発表会		当日のみ	くらま温泉
8月23日(土)	<a href="http://www.entcomp.org/sig/2013/index.php?page=top">http://www.entcomp.org/sig/2013/index.php?page=top</a>			
8月24日(日)	夏のプログラミング・シンポジウム 2014 <a href="http://prosym.github.io/sprosym2014/">http://prosym.github.io/sprosym2014/</a>	6月12日(木)	7月24日(木)	(株)ドリコム・ プレゼンテーションルーム
8月24日(日)～	情報教育シンポジウム2014 (SSS2014) <a href="http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2014">http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2014</a>	5月31日(土)	当日可	リゾートホテル オリビアン小豆島
8月26日(火)				
8月25日(月)～	第104回音楽情報科学研究発表会	7月7日(月)	当日のみ	京都大学 総合研究 8号館NSホール
8月27日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus104.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus104.html</a>			
8月27日(水)～	The 9th International Workshop on Security (IWSEC2014) <a href="https://www.iwsec.org/2014/">https://www.iwsec.org/2014/</a>			コラボ弘大
8月29日(金)				
8月28日(木)～	DAシンポジウム2014—システム設計技術とLSI設計技術— <a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2014.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-da2014.html</a>	5月30日(金)		下呂温泉 水明館
8月29日(金)				
9月1日(月)～	第193回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会	6月9日(月)	当日のみ	筑波大学
9月2日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim193.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim193.html</a>			
9月1日(月)～	第218回自然言語処理研究発表会	7月17日(木)	当日のみ	首都大学東京 南大沢キャンパス
9月2日(火)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl218.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/nl218.html</a>			
9月1日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2014	5月2日(金)		芝浦工業大学 芝浦キャンパス
9月3日(水)	<a href="http://ses.sigse.jp/2014/">http://ses.sigse.jp/2014/</a>			
9月3日(水)～	FIT2014 第13回情報科学技術フォーラム <a href="http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2014/index.html</a>			筑波大学 筑波キャンパス
9月5日(金)				
9月4日(木)～	第11回ネットワーク生態学シンポジウム <a href="http://www.neteco.jp/symposium/201409/">http://www.neteco.jp/symposium/201409/</a>	8月1日(金)	定員になり次第	湘南国際村センター
9月5日(金)				
9月8日(月)～	平成26年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会開催案内			中京大学
9月9日(火)	<a href="http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2014/">http://www.ipsj-tokai.jp/rengo2014/</a>			名古屋キャンパス

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
9月10日(水)～	第129回情報システムと社会環境研究発表会	7月11日(金)	当日のみ	愛媛大学 城北キャンパス
9月11日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is129.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is129.html</a>			
9月11日(木)～	第86回情報処理学会オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会	7月11日(金)	当日のみ	山形県鶴岡市 庄内産業振興センター
9月12日(金)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm85.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm85.html</a>			
9月11日(木)～	平成26年度電気関係学会北陸支部連合大会開催案内			富山高等専門学校 本郷キャンパス
9月12日(金)	<a href="http://jhes2014.nc-toyama.ac.jp">http://jhes2014.nc-toyama.ac.jp</a>			
9月12日(金)	第149回アルゴリズム研究発表会	7月4日(金)	当日のみ	伝国の杜
9月12日(金)～	エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2014)	6月23日(月)	当日可	明治大学 中野キャンパス
9月14日(日)	<a href="http://ec2014.entcomp.org/">http://ec2014.entcomp.org/</a>			
9月13日(土)	平成26年度電気関係学会四国支部連合大会開催案内および講演募集	7月21日(月)		徳島大学工学部
9月16日(火)	第156回グラフィクスとCAD研究発表会	7月6日(日)	当日のみ	中京大学 名古屋キャンパス
9月17日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg156.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cg156.html</a>			
9月17日(水)	2014年度関西支部支部大会開催案内			大阪大学 中之島センター
9月18日(木)～	第161回マルチメディア通信と分散処理・	7月14日(月)	当日のみ	東海大学 熊本キャンパス
9月19日(金)	第65回電子化知的財産・社会基盤合同研究発表会			
9月18日(木)～	平成26年度(第67回)電気・情報関係学会九州支部連合大会	7月15日(火)		鹿児島大学 郡元キャンパス
9月19日(金)	開催案内および講演募集			
9月25日(木)	連続セミナー 2014 第3回「モバイル・クラウド時代のソフトウェア開発技術」		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
10月17日(金)	連続セミナー 2014 第4回「モバイル・クラウド時代を加速するIOT (Internet of Things)」		定員になり 次第	化学会館 大阪大学中之島センター
10月18日(土)	第104回人文科学とコンピュータ研究発表会	8月4日(月)	当日のみ	関西大学
10月22日(水)～	組込みシステムシンポジウム2014 (ESS2014)	6月16日(月)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月24日(金)	<a href="http://www.sigemb.jp/ESS/2014/">http://www.sigemb.jp/ESS/2014/</a>			
10月25日(土)	高校教科「情報」シンポジウム2014秋		定員になり次第	早稲田大学西早稲田 キャンパス 55N号館 1階会議室
10月25日(土)	<a href="http://sigps.eplang.jp/">http://sigps.eplang.jp/</a>			
10月25日(土)	平成26年度(第65回)電気・情報関連学会中国支部連合 大会開催案内および一般講演募集	7月28日(月)		福山大学
11月7日(金)～	第19回ゲームプログラミングワークショップ2014 (GPW-14)	7月21日(月)		箱根セミナーハウス
11月9日(日)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2014/">http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2014/</a>			
11月11日(火)	連続セミナー 2014 第5回「モバイル・クラウド時代のデータプライバシー」		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月1日(月)	連続セミナー 2014 第6回「アナリティクス適用事例」		定員になり次第	化学会館 大阪大学中之島センター
12月8日(月)～	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	8月11日(月)		出雲・玉造温泉 ホテル玉泉
12月10日(水)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2014.html">http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dpsws2014.html</a>			
<b>2015年</b>				
1月20日(火)～	The 8th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous (ICMU2015)			ロワジールホテル函館
1月22日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2014/">http://www.ipsj.or.jp/sig/gi/gpw/2014/</a>			
3月17日(火)～	情報処理学会 第77回全国大会			京都大学
3月19日(木)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/index.html">http://www.ipsj.or.jp/event/taikai/77/index.html</a>			吉田キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

#### [トピックス]

- 6月20日 企業向けサイトライセンスサービスの提供について (ご案内)
- 6月17日 「世界最先端 IT 国家創造宣言 改定 (案)」に関する意見
- 6月15日 人材募集情報 (Vol.55 No.7)
- 6月15日 情報処理 Vol.55 No.7 解説「情報学を定義する—情報学分野の参照基準—」公開中
- 6月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.55 No.7)
- 6月09日 「サイバーセキュリティ 2014 (案)」に関する意見
- 6月05日 2014 年度定時総会について
- 5月30日 デジタルプラクティス「教育と情報通信技術 (ICT)」特集論文募集
- 5月16日 2014 年度教員免許更新講習

## 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書に記載する「宛名」、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へ、E-mail、Fax または郵送にてお申し込みください。

\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 税抜 20,000 円（税込 21,600 円）

賛助会員（企業） 税抜 30,000 円（税込 32,400 円）

賛助会員以外の企業 税抜 50,000 円（税込 54,000 円）

\* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 税抜 4,000 円（税込 4,320 円）で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

\* 原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

### \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

#### ■自然科学研究機構国立天文台

募集人員 年俸制職員（特任専門員） 各1名  
 募集職種 1. アルマプロジェクトのデータ解析関連ソフトウェア開発・改良・運用担当  
 2. アルマプロジェクトの制御系ソフトウェア開発・改良・運用担当  
 所 属 チリ観測所（三鷹）  
 着任時期 2014年10月1日  
 提出書類 (1)履歴書、職務経歴書、(2)計算機に関するこれまでの経験を含め、抱負をまとめた文章（A4用紙2枚程度）、(3)迅速に連絡がとれる連絡先（E-mailアドレス、電話番号）  
 応募締切 2014年7月25日15時（必着）  
 送付先 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台チリ観測所 長谷川哲夫  
 「年俸制職員（特任専門員：解析ソフト開発）応募」、 「年俸制職員（特任専門員：制御ソフト開発）応募」のいずれかを朱書  
 照会先 チリ観測所 小杉城治 E-mail: george.kosugi@nao.ac.jp  
 \* 問合せの電子メールのヘッダは"nenpousei tokunin inquiry"としてください  
 その他 仕事内容、応募資格などの詳細な募集情報は、国立天文台およびチリ観測所の採用情報にありますので、応募の際は必ずご確認ください。 <http://www.nao.ac.jp/about-naoj/recruit.html>, <http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/recruit/index.html>  
 また、ALMA プロジェクトについては下記を参照してください  
<http://alma.mtk.nao.ac.jp/j/>, <http://www.almaobservatory.org/>

#### ■東京工業大学大学院理工学研究科

募集人員 教授 1名  
 所 属 通信情報工学専攻通信情報工学共通講座  
 専門分野 計算機システムに関連する研究分野（計算機アーキテクチャ、回路とシステム、LSI設計技術、組込みシステムなど）  
 応募資格 博士の学位を有し、優れた研究業績を有する方  
 着任時期 決定後なるべく早い時期  
 応募締切 2014年8月25日（必着）  
 照会先 通信情報工学専攻 教授 上野修一 E-mail: ueno@eda.ce.titech.ac.jp Tel(03)5734-2576  
 その他 詳細はWebページ (<http://www.ce.titech.ac.jp/Koubo201405.pdf>) を参照ください

## ■関東学院大学理工学部理工学科

募集人員 専任講師 1名  
 所属 電気学系  
 専門分野 電波・情報通信分野  
 担当科目 電磁気学, 電波工学, 実習・実験, 卒業研究等  
 応募資格 (1)博士の学位を有する方, または取得見込みの方, (2)本学の建学の精神を尊重し, 熱意を持って学生の教育にあたる方(本学では, キリスト教に基づき, 学校教育を行っておりますので, ご理解いただける方が望まれます)  
 着任時期 2015年4月1日  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト等 \*詳細はWebページ (<http://rikou.kanto-gakuin.ac.jp/3003>)を参照  
 応募締切 2014年8月29日(必着)  
 照会先 関東学院大学理工学部電気学系長 箕 弘幸 E-mail: [hiromino@kanto-gakuin.ac.jp](mailto:hiromino@kanto-gakuin.ac.jp)

## ■群馬工業高等専門学校電子情報工学科

募集人員 准教授または講師 1名  
 専門分野 電子情報工学または情報通信工学  
 担当科目 電子情報工学科および専攻科における電子情報通信工学などの専門科目および卒業研究・専攻科特別研究指導等  
 応募資格 ①採用時において博士の学位を有すること, ②教育・研究・学生指導および各校務に熱意を持って当たる方, ③科研費等外部研究資金獲得に意欲のある方, ④地域の産官学との共同研究や出前授業など地域貢献に熱意のある方, ⑤企業等における実務経験を有する方が望ましい \*群馬工業高等専門学校は男女共同参画を推進しており, 業績(教育業績, 研究業績, 社会的貢献, 人物を含む)の評価において同等と認められる場合には, 女性を優先的に採用します  
 着任時期 2015年4月1日  
 提出書類 (1)履歴書(連絡先にE-mailアドレスも記入), (2)研究業績リスト(レフリー付き論文・国際会議発表・著書・その他に分類のこと), (3)主要論文別刷(5編以内, コピー可), (4)これまでの研究概要(A4用紙1000字程度), (5)教育実績(非常勤講師やTAのほか, 研修会, セミナ等の講師としての活動も含まれます), (6)着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙2000字程度), (7)推薦書1通または照会可能な方2名の氏名, 連絡先  
 応募締切 2014年8月29日(必着)  
 送付先 〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580 群馬工業高等専門学校総務課人事・労務係  
 「電子情報工学科 教員応募書類」と朱書き簡易書留 \*応募書類は原則として返却いたしません  
 照会先 電子情報工学科長 雑賀洋平 E-mail: [saika@ice.gunma-ct.ac.jp](mailto:saika@ice.gunma-ct.ac.jp) Tel(027)254-9256 (ダイヤルイン)  
 その他 選考方法: 第一次選考: 書類選考, 第二次選考: 面接  
 詳細は本校Webページ (<http://www.gunma-ct.ac.jp/>)を参照ください

## ■日本大学工学部情報工学科

募集人員 准教授 1名  
 専門分野 計算機ソフトウェア分野  
 担当授業 コンパイラ, 組込みソフトウェア, システムソフトウェアなどの情報基礎科目  
 応募資格 博士の学位を有し, 当該分野の教育・研究を担当できること  
 着任時期 2015年4月1日  
 提出書類 (1)履歴書(連絡先とE-mailを明記), (2)研究業績リスト(著書, 査読付き論文, 国際会議, 特許等に区分), (3)主要論文別刷(5編程度, コピー可), (4)これまでの研究概要(A4用紙2枚程度), (5)教育・研究に関する抱負(A4用紙1~2枚程度), (6)本人に関する所見を求め得る方(2名)の氏名とその連絡先(所属, 住所, 電話, E-mailアドレス)  
 応募締切 2014年9月1日(必着)  
 照会先 工学部情報工学科 主任 若林裕之 E-mail: [hwaka@cs.ce.nihon-u.ac.jp](mailto:hwaka@cs.ce.nihon-u.ac.jp) Tel(024)956-8836  
 その他 詳細はWebページ (<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/joho/index.html>)をご覧ください

## ■島根大学大学院総合理工学研究科

- 募集人員 助教 1名(常勤:任期なし)
- 所 属 情報システム学領域
- 専門分野 情報科学/情報工学
- 担当科目 大学院:情報科学基礎, 計算機科学特論, 学部:計算機システム実験, コンピュータサイエンス基礎
- 応募資格 (1)博士の学位(取得見込みを含む)を有すること, (2)大学院総合理工学研究科情報システム学コースおよび数理・情報システム学科(情報系)における教育・研究に十分な指導能力を有していること
- 着任時期 2015年4月1日
- 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト(研究費の獲得実績, および学会活動・社会活動の実績を含む), (3)主要論文別刷(3編程度, コピー可), (4)上記(3)の論文の概要(各論文について200字以内), (5)教育研究に対する抱負, (6)業績を評価できる方2名の氏名および連絡先
- 応募締切 2014年9月19日(必着)
- 送 付 先 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学大学院総合理工学研究科長 服部泰直  
「情報システム学領域教員(助教)応募書類在中」と朱書し(簡易)書留 \*応募書類は原則として返却しません。提出書類に含まれる個人情報, 選考および採用以外の目的には使用しません
- 照 会 先 情報システム学領域 浜口清治 E-mail: hama@cis.shimane-u.ac.jp Tel/Fax(0852)32-6468
- そ の 他 選考方法:書類選考および必要に応じ本学において面接等を行います。書類選考通過者に対して面接の実施日時等をお知らせします。その際の旅費・宿泊費は応募者の負担となります。また, 島根大学では男女共同参画社会の実現を目指しています。「男女共同参画社会基本法」の趣旨にのっとり, 業績(研究業績, 教育業績, 社会的貢献等)および人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。選考結果は応募者本人に通知します  
公募の詳細については, Web ページ ([http://www.shimane-u.ac.jp/introduction/recruit/recruit\\_prof/](http://www.shimane-u.ac.jp/introduction/recruit/recruit_prof/))を参照してください

## ■静岡大学大学院情報学研究科

- 募集人員 教授 1名
- 所 属 情報学専攻理工系情報学分野
- 専門分野 情報科学分野
- 担当科目 情報科学に関する大学院および学部の教科
- 応募資格 (1)博士の学位を有する方またはそれと同等の業績を有する方, (2)次世代を担う情報科学の分野で優れた研究業績を有し, 教育研究に対するビジョンを持つ方
- 着任時期 2015年1月1日以降のできるだけ早い時期
- 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト(主要な業績5点に○印をつけ, その5点につき各100字程度の概要を記してください), (3)上記○印をつけた業績の別刷(コピー可), (4)外部資金獲得の実績リスト, (5)組織や学会での企画・運営に関する実績リスト, (6)教育・研究・運営・社会貢献に関する抱負(2000字程度, 本研究科の教育内容に留意して記述してください), (7)応募者に関する所見を求め得る2名の方の氏名・所属・連絡先・E-mailアドレス
- 応募締切 2014年9月24日(必着)
- 送 付 先 〒432-8011 静岡県浜松市中区城北3-5-1 静岡大学大学院情報学研究科長  
「情報学研究科(情報科学)教員応募書類」と朱書し簡易書留 \*書類の返却を希望される場合は切手を貼付した返却用封筒を同封してください
- 照 会 先 情報学研究科 教授 大島 純 E-mail: joshima@inf.shizuoka.ac.jp Tel(053)478-1451

## ■群馬大学大学院理工学府電子情報部門

- 募集人員 助教 1名  
 所 属 情報科学コース  
 専門分野 情報科学・情報工学の主要分野  
 担当科目 情報科学実験I, II (ハードウェア実験), および, 大学院ならびに学部の教育課程において情報科学に関する演習, 実験, 研究指導など  
 応募資格 (1)博士の学位を有する方, (2)優れた研究実績があり, 教育・研究に熱意を持って取り組んでいただける方, (3)学内の運営に協力的に取り組んでいただける方  
 着任時期 2015年4月1日までのできるだけ早い時期  
 提出書類 (1)履歴書 (E-mailアドレスを含む), (2)研究業績リスト (査読付き論文, 国際会議論文, 総説, 著書, その他 (受賞歴, 特許等)), (3)主要論文別刷 (3編程度, コピー可), (4)科学研究費等の競争的資金・外部研究費獲得実績 (代表・分担を記載), (5)教育上の業績リスト (教育歴, その他), (6)学会および社会における活動実績 (学会・国際会議活動・共同研究等の実績, 社会貢献・地域貢献等の実績), (7)これまでの研究業績の概要と採用された場合の研究・教育への抱負 (A4用紙1枚), (8)可能ならば, 応募者について照会できる2名の方の氏名と連絡先 (電話番号, E-mailアドレスを含む)  
 応募締切 2014年9月30日 (必着)  
 送付先/照会先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学大学院理工学府電子情報部門 情報科学コース長 中野眞一  
 E-mail: nakano@cs.gunma-u.ac.jp 「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留  
 そ の 他 書類審査の後, 必要に応じて面接を行います  
 詳細はWebページ (<http://www.cs.gunma-u.ac.jp/recruit20140525.pdf>) を参照ください

## ■高エネルギー加速器研究機構

- 募集人員 博士研究員 1名 (常勤: 任期は単年度契約で2年)  
 所 属 共通基盤研究施設計算科学センター  
 専門分野/仕事内容 計算科学センターは, 本機構で行われる研究活動のための計算環境の提供および技術支援ならびに加速器科学 (加速器本体または加速器を利用する研究分野全般) に関連する計算科学分野の研究開発を行っている。具体的には, 大規模数値解析, 広域分散コンピューティング, コンピュータシミュレーションおよび実験データ収集・解析等に関するソフトウェアまたはハードウェアシステムの研究開発であり, 本公募で採用された博士研究員はこれらのテーマの1つに取り組む  
 応募資格 応募締切時点で博士号取得後10年以内の方, または着任までに学位の取得が確実な方  
 着任時期 採用決定後できるだけ早い時期  
 応募締切 2014年10月24日 (必着)  
 提出書類/送付先 Webページ (<http://www.kek.jp/ja/Jobs/>) を参照ください  
 照会先 総務部人事労務課人事第一係 E-mail: jinjil@ml.post.kek.jp Tel(029)864-5118 (ダイヤルイン)  
 そ の 他 本機構は, 男女共同参画を推進しており, 女性研究者の積極的な応募を歓迎します

CONTENTS

**Preface**

**New Prospect of Simulation Technology**  
Marie OSHIMA (The Univ. of Tokyo)

**Special Features**

**Early Results of the K computer**

**784 0. Foreword**

Mitsuo YOKOKAWA (Kobe Univ. / RIKEN AICS) and Tetsuo KARAKI (RIKEN AICS)

**786 1. Status Report of the K computer**

Keiji YAMAMOTO, Atsuya UNO, Toshiyuki TSUKAMOTO, Katsufumi SUGETA and Fumiyoshi SHOJI (RIKEN AICS)

**794 2. User Selection and Its Results of the K computer**

Shinichi MINEO, Hideshi ONO and Toshio HIRAYAMA (The Research Organization for Information Science and Technology, General Incorporated Foundation (RIST))

**798 3. All-atom Molecular Dynamics Simulation of Viruses**

Yoshimichi ANDOH and Susumu OKAZAKI (Nagoya Univ.)

**804 4. Multiscale Heart Simulator for the Understanding of the Mechanisms of Cardiac Disease**

Kazunori YONEDA (Fujitsu Ltd.), Takumi WASHIO, Jun-ichi OKADA, Seiryu SUGIURA and Toshiaki HISADA (The Univ. of Tokyo)

**811 5. The Road to the Global Subkilometer Atmospheric Simulation**

Hisashi YASHIRO, Hirofumi TOMITA and Yoshiaki MIYAMOTO (RIKEN AICS)

**817 6. The Large-scale Simulation of Tsunami Inundation on the K computer**

Kazuto ANDO, Toshitaka BABA, Daisuke MATSUOKA (Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology) and Toshihiro KATO (NEC Corp.)

**823 7. HPC-CFD for Vehicle Aerodynamics on the K-computer**

Makoto TSUBOKURA (Hokkaido Univ. / RIKEN AICS) and Keiji ONISHI (RIKEN AICS)

**829 8. High Resolution Simulations of Dark Matter Structure Formation in the Universe**

Tomoaki ISHIYAMA (Univ. of Tsukuba)

**836 9. The Remarkable Computational Performance of the K computer reveals the Future of Computational Drug Design**

Masahiko NAKATSUI (Kobe Univ. / RIKEN AICS) and Yasushi OKUNO (Kyoto Univ. / RIKEN AICS / Foundation for Biomedical Research and Innovation)

**Special Features**

**Looking Back on the 3rd Shogi Dennou-sen**

**842 0. Foreword**

Takeshi ITO (Univ. of Electro-Communications)

**844 1. Self-explanation of the Games against YSS**

Masayuki TOYOSHIMA (Japan Shogi Association)

**847 2. The 3rd Shogi Dennou-sen Faced by Improvement of the Non-linear Evaluation Function**

Akira TAKEUCHI

**851 3. An Objective Analysis on the Strength of Computer Shogi - Did It Reach to the Human Top Player?**

Yoshiyuki KOTANI (The Univ. of Agriculture and Technology)

**Special Article**

**780 Introducing New Programming Language Swift**

Satoshi NUMATA (Osaka Electro-Communication Univ.)

**Reports : The 2013 IPSJ Best Paper Award**

**853 Foreword**

Shojiro NISHIO (Osaka Univ.)

**854 Reducing Maintenance Cost of Routing Table in Chord#**

OH SEUNG EON (Osaka City Univ.)

**855 A Study of Procedural Modeling for Graphic Designers**

Kaisei SAKURAI and Kazunori MIYATA (Japan Advanced Institute of Science and Technology)

**856 Predicting Software Faults - Between Academy and Industry -**

Kenichi KOBAYASHI (Fujitsu Labs. Ltd.)

**857 Real Time Commentary System for Shogi**

Tomoyuki KANEKO (The Univ. of Tokyo)

**858 Study of Illegal Copy Prevention Method to Overcome the Analog Reconversion Problem**

Takayuki YAMADA (National Institute of Informatics), Seiichi GOSHI (Kogakuin Univ.) and Isao ECHIZEN (National Institute of Informatics / The Graduate Univ. for Advanced Studies)

**859 Collaboration is Fun : How We Came to Analyze Snake Cube Puzzles**

Zachary ABEL, Erik D. DEMAINE, Martin L. DEMAINE, Sarah EISENSTAT, Jayson LYNCH and Tao B. SCHARDL (Massachusetts Institute of Technology)

**860 The Challenge to Open Mission Critical System (OMCS)**

Masatoshi AIZAWA (MC System Lab, Corp.)

**861 Looking Back on the Fight against Enormous Amount of Sequence Data**

Tomoshige OHNO (Shionogi & Co., Ltd.)

**862 Towards Reliability Evaluation of System LSIs**

Taiga TAKATA (Cadence Design Systems, Japan)

**Reports : The 2013 IPSJ Nagao Special Researcher Award**

**863 Foreword**

Shojiro NISHIO (Osaka Univ.)

**864 Latent Variable Models for Knowledge Discovery**

Tomoharu IWATA (NTT Communication Science Labs.)

**865 Toward Research on Entertainments Used in Real Environments**

Tsutomu TERADA (Kobe Univ.)

**866 Severe but Enjoyable Research on Natural Language Processing**

Yusuke MIYAO (National Institute of Informatics)

**Reports : The 2013 IPSJ Kiyasu Special Industrial Achievement Award**

**867 Foreword**

Toshiyuki NAKATA (NEC Corp.)

**868 Exploitation of the Marine IT Research Field**

Masaaki WADA, Makoto OKAMOTO (Future Univ. Hakodate), Katsumori HATANAKA (Tokyo Univ. of Agriculture) and Minoru SANO (Hokkaido Research Organization)

**869 Greeting Phrase for IPSJ Kiyasu Special Industrial Achievement Award**

Naoya TORII, Kouichi ITOH, Masahiko TAKENAKA (Fujitsu Labs. Ltd.), Tetsuya IZU (FUJITSU Labs. of Europe Ltd.) and Yumiko TAKASAKI (FUJITSU Semiconductor Ltd.)

**870 Pioneer of Privacy Protection for Smartphone**

Keisuke TAKEMORI (KDDI R&D Labs. / KDDI Product Planning Division), Hideaki KAWABATA (KDDI R&D Labs.) and Takamasa ISOHARA (KDDI Product Planning Division)

**"Peta-gogy" for Future**

**871 Message to the Students Studying Information Processing**

Yasushi FUWA (Shinshu Univ.)

**872 The Present Situation of High-school Teachers for Information Studies**

Yoshiaki NAKANO (Kobe Municipal High School of Science and Technology) and Yasuichi NAKAYAMA (The Univ. of Electro-Communications)

**876 Certified IT Professional (1) -Overview-**

Hiroharu ASahi (Chairman of the Committee of IT Professionals)

**Senior Column : Messages on Favorite IT**

**882 Senior A's Challenge**

Yoshiyori URANO

**880 Biblio Talk**

**884 The Women's Club of the Editorial Committee of the IPSJ Magazine**



**論文誌ジャーナル掲載論文リスト**

**Vol.55 No.7 (July 2014)**

**【一般論文】**

- RDBMSにおけるクエリ実行計画情報を用いたストレージ階層制御による高速化手法 松沢敬一 他
- Reactive Load Balancing During Failure State in IP Fast Reroute Schemes Takuya Yoshihiro 他
- サーババッシュにおけるモバイル端末のRRC状態を考慮したメッセージ配信遅延抑制方式\* 大西健夫 他
- 生物学的制約の導入によるビデオゲームエージェントの「人間らしい」振る舞いの自動獲得 藤井叙人 他

- 機械翻訳に適した係り受け木における品詞の教師なし学習 田村晃裕 他
- 擬似生成した複数方言言語モデル混合による混合方言音声認識 平山直樹 他
- 名詞の類似表現拡張に基づくオープンドメイン音声質問応答システム用言語モデルの構築 大竹清敬 他
- うつ病患者の家族看護者に対するICT支援 山下直美 他

\* : 推薦論文 Recommended Paper  
† : テクニカルノート Technical Note



**論文誌トランザクション掲載論文リスト**

**(July 2014)**

**【論文誌 プログラミング Vol.7 No.3】**

- Checking Time Linearity of Regular Expression Matching Based on Backtracking Satoshi Sugiyama 他
- 破壊的クラス拡張で生じるメソッド衝突を回避可能なモジュール機構 Method Shellsとその実装方法 竹下若菜 他
- Parallelization of Extracting Connected Subgraphs with Common Itemsets Shingo Okuno 他
- Dividing Huge XML Trees Using the m-bridge Technique over One-to-one Corresponding Binary Trees Takayuki Kawamura 他

**【Transactions on Computer Vision and Applications Vol.6】**

- Polarimetric endoscope for image enhancement of surface micro-structure on mucosa Katsuhiko Kanamori
- Time-to-Contact from Photometric Information Yukitoshi Watanabe 他
- Underwater 3D Surface Capture using Multi-view Projectors and Cameras with Flat Housings Ryo Kawahara 他

- Recognition of Defocused Patterns Masakazu Iwamura 他
- Quality-dependent Score-level Fusion of Face, Gait, and the Height Biometrics Takuhiro Kimura 他
- Efficient localization of panoramic images using tiled image descriptors Akihiko Torii 他
- Head Orientation Estimation using Gait Observation Mitsuru Nakazawa 他
- Background Estimation for a Single Omnidirectional Image Sequence Captured with a Moving Camera Norihiko Kawai 他
- 3D measurement for red blood cells using digital holography Yu Qiyue 他
- Geometrical and temporal calibration of multiple cameras using blinking calibration patterns Hirotake Yamazoe 他
- ILSVRC on a Smartphone Yoshiyuki Kawano 他
- Depth from projector Defocus based on multiplex pattern projection Hitoshi Masuyama 他
- Image Classification Using a Mixture of Subspace Models Takashi Takahashi 他



**デジタルプラクティス掲載論文リスト**

**Vol.5 No.3 (July 2014)**

**【特集：スマートシティ】**

**【特集号招待論文】**

- 横浜スマートシティプロジェクトにおけるビル群協調型デマンドレスポンス実証実験—大規模な社会実証実験を通して得られた知見— 愛須英之 他
- 北九州スマートコミュニティ創造事業—日本初の本格的ダイナミックプライシング社会実証— 荒牧敬次 他
- ソーシャル・キャピタルと節電行動の相関に関するスマートフォンを用いた実証—二子玉川駅周辺地域での節電プロジェクトを中心に— 櫻橋 淳 他
- 「Internet by Design」に基づいたスマートビル・スマートキャンパスの設計と実装— IEEE1888 を用いた実装・プラクティス・展開— 江崎 浩 他
- スマートシティ向けIT基盤における異種システム連携機能 山本秀典 他

**【特集号投稿論文】**

- 地域エネルギー管理システムの通信ソフトウェアの開発と運用—実証実験により得られた知見— 金子 雄 他
- 《インタビュー》荒牧敬次氏、岩野和生氏 インタビュー 「北九州スマートコミュニティ実証実験のプラクティス」

**【一般投稿論文】**

- 既存ソフトウェアに対する実践的なモデル化方法およびデジタルテレビへの応用 浅田幸則 他
- 設計項目間の不整合を検出するためのシステム開発と評価 元山 厚 他
- 評価グリッド法を活用した漁場探索における海況予測システムに対する漁業者の評価構造 久木元伸如 他

# ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）  
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail: editj@ipsj.or.jp  
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)  
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。  
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- [1] ご氏名
- [2] ご所属 Tel. ( ) -
- [3] E-mail:
- [4] 業種： (a) 企業（サービス業） (b) 企業（製造業） (c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4- [ ]
- [5] 職種： (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（大学・大学院） (h) 教職員（小・中・高校・高専など）  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5- [ ]
- [6] 年齢： (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6- [ ]
- [7] 性別： (a) 男性 (b) 女性 ..... 7- [ ]
- [8] あなたはモニタですか？： (a) はい (b) いいえ ..... 8- [ ]
- [9] あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可（氏名のみ掲載） (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9- [ ]
- [10] 今月号（2014年8月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。  
[a]…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

巻頭コラム：シミュレーション技術の新しい展開.....	10-1- [ ]
特別解説：プログラミング言語 Swift の紹介.....	10-2- [ ]
特集：(続) スーパーコンピュータ「京」の利用	
1. スーパーコンピュータ「京」の運用状況.....	10-3- [ ]
2. 「京」における課題選定の仕組みと課題選定状況.....	10-4- [ ]
3. ウィルスの全原子分子動力学シミュレーション.....	10-5- [ ]
4. 心疾患のメカニズム解明を目指すマルチスケール心臓シミュレータ.....	10-6- [ ]
5. 1km 格子間隔を切る大気大循環シミュレーションへの道のり.....	10-7- [ ]
6. 「京」コンピュータによる大規模津波シミュレーション.....	10-8- [ ]
7. 自動車の大規模空力シミュレーション.....	10-9- [ ]
8. 「京」の威力で宇宙の正体に迫る.....	10-10- [ ]
9. スーパーコンピュータ「京」が拓くコンピュータ創薬の未来.....	10-11- [ ]
ミニ特集：第3回将棋電王戦を振り返って	
1. YSS 戦を振り返る.....	10-12- [ ]
2. 非線形評価関数の改良により臨んだ第3回将棋電王戦.....	10-13- [ ]
3. コンピュータ将棋の棋力の客観的分析.....	10-14- [ ]
2013 年度論文賞の受賞論文紹介.....	10-15- [ ]
2013 年度長尾真記念特別賞紹介.....	10-16- [ ]
2013 年度喜安記念業績賞紹介.....	10-17- [ ]
べた語義：情報処理を学ぶ学生の皆さんへ.....	10-18- [ ]
べた語義：高等学校情報科教員の現状.....	10-19- [ ]
べた語義：認定情報技術者制度 (1).....	10-20- [ ]
ビブリオ・トーク：Lisp 3 <sup>rd</sup> Edition.....	10-21- [ ]
IT 好き放題：シニア A の挑戦.....	10-22- [ ]
会誌編集委員会女子部.....	10-23- [ ]

[11] 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記 [10] の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8 の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- [11-1] 良かった記事 ..... 11-1- [ ]
- [11-2] この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 11-2- [ ]
- [11-3] 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- [ ]
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった  
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 ..... 12-1- [ ]  
〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 12-2- [ ]  
〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） ..... 12-3- [ ]  
a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる  
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕 今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕（続）スーパーコンピュータ「京」の利用：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-1- [ ]  
〔13-2〕 第3回将棋電王戦を振り返って：a) 専門家 b) 非専門家 ..... 13-2- [ ]

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

## 次号（9月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

### 「特集」サイバーフィジカルシステム

サイバーフィジカルシステムの概要と動向／サイバーフィジカルシステムを支える技術—フィジカルシステムを理解する／Field Operational Tests に向けて／実体情報学が拓く世界—サイバーフィジカルを指向した人材育成プログラム—／次世代 CPS のためのソフトウェアインフラストラクチャ／家電の常時接続／ヘルスケアデータの収集と活用「データヘルス計画」／クルマの自動走行／フィールドサーバとウェアラブル端末による農作業情報共有の試み／CPS 技術を利用した排出権管理／サイバーフィジカルシステムにおける説得工学の利用／行動をデザインする：人の行動を促す人間—環境インタラクションデザイン

### 「特集」ビッグデータ活用事例

アマゾン ウェブ サービスを用いたビッグデータ活用事例／ビッグデータプラットフォームとして進化する Hadoop と活用事例／シェルスクリプトを用いたビッグデータ活用の事例／ビッグデータ時代のマーケティング・ダッシュボード—ダッシュボード 3.0 とその活用—／医療におけるビッグデータ利活用—精神神経系疾患の診断系を中心として—

解 説：ウェアラブルの未来予想図 ..... 森川博之  
マルチメディア伝送技術の 20 年ぶりの大改定—MPEG Media Transport (MMT) により実現される 4K/8K 放送システム—  
..... 青木秀一

トピックス：研究会推薦博士論文速報

学会活動報告：情報技術の国際標準化と日本の対応—2013 年度の ISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動—

教育コーナー：ぺた語義

連 載：ビブリオ・トーク／会誌編集委員会女子部

コラム：巻頭コラム／シニアコラム：IT 好き放題

スーパーコンピュータ「京」が一般向けの運用を開始してから、間もなく2年が過ぎようとしています。「京」の特徴は、性能の高さもさることながら、その汎用性の高さにあります。本特集で紹介したように、「京」は実際に数多くのユーザに利用され、さまざまな画期的な成果を挙げています。「京」の完成までには紆余曲折がありましたが、できあがったものが実際にこうして活躍しているのを見ると、関係者の皆様の努力には頭が下がる思いです。それと同時に、昨今いまひとつであった日本の計算機科学分野での国際的なプレゼンスが、国産スーパーコンピュータ「京」の活躍によって大幅に向上し、私のような一計算機科学者にとっても大いに励みになりました。

今年に入り、理研が中心となってポスト「京」に相当するスーパーコンピュータの開発に着手することが、文部科学省より発表されました。これから開発を始めるスーパーコンピュータは、「京」の100倍の性能を有する、とてつもない規模のものです。2020年度からの運用開始を目指

し、本年度から基本設計がスタートしています。技術的な困難が予想されますが、ぜひ、「京」のような汎用性を維持しつつ目標性能を達成してほしいものです。

スーパーコンピュータの開発には多くの期間が必要であり、そこに投入される人員や予算も莫大です。ですが、自動車会社がF1に参戦するのと同様、日本の計算機科学界が世界トップ・クラスの技術水準を維持していく上で、スーパーコンピュータ開発は避けて通ることができません。「京」と同様、ポスト「京」の開発を通してさまざまな画期的な技術が発明され、それらはさまざまな形で社会へと還元されていくのではないのでしょうか。

最後に、本特集の編集作業にあたって、横川三津夫 神戸大学教授に多大なご尽力を賜りました。横川先生のご協力をなくしては、本特集が完成にこぎ着けることはなかったと思っています。ここに感謝の意を表します。

(三輪 忍/本特集エディタ)

この3月で会誌編集委員を卒業することとなり、「退任にあたって」を書いたところだったが、その直後にこの話が舞い込んできた。お役御免になったつもりでいたが、ついつい引き受けてしまった。「あから2010」の対戦のときには開発者の1人ということもあり、プロジェクトにも深くかかわっていたが、ダウンゴが主催となり電王戦という形になって、徐々にかわりが薄くなっていた。コンピュータ将棋の進歩には興味があるし、プロ棋士との対戦は本来もっと胸躍るイベントになるはずなのだが、第3回将棋電王戦については、第2回将棋電王戦までとは異なり、私はかなり冷めた目で眺めていた。一番の理由は、やはり対戦ルールの大幅な変更である。ハードウェア制限はともかく、プロ棋士が事前に開発したソフトと自由に対戦できるというルールはどうにもいただけない。勝負を拮抗させイベントを盛り上げるためという考えから導入されたルールであろうが、結局のところ、豊島七段以外のプロ棋士側はそのルールを有効に使いこなせず、結果だけを見るとプロ棋士側に不名誉な結果が残ってしまったのではないだろうか。

プロ棋士側にとっては、勝っても負けてもこのルールでは後味の悪い結果になることが想定されていただけに、将棋ファンの1人としてももう少し慎重に対戦ルールを決めていただきたかった。

私自身があまり深くかかわっていなかったイベントだったこともあり、今回のミニ特集の人選には苦心した。その中では、プロ棋士側として十分な準備をして勝者を収めた豊島七段と、昨年の敗戦をバネに今年の電王戦に向けて改良を加えた竹内氏に執筆を引き受けていただけたことは幸運であった。また、昨年のゲームプログラミングワークショップの招待講演でコンピュータの棋力について大変興味深い客観的分析を披露された小谷氏にも執筆いただけることになった。コンピュータ将棋については、すでに何度も本誌で特集が組まれているので、なるべく新しい視点から書いていただける執筆者にお願いしたいと考えていたが、それが叶ったので、特集としては面白い構成になったのではないかと自負している。

(伊藤毅志/本ミニ特集ゲストエディタ)

広告のお申込み

■ 広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	190,000円 (税込205,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	165,000円 (税込178,200円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		
同封 (A判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)		

■ 「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会  
 発行部数 20,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 完全版下データ  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■ 問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■ 「情報処理」 55巻8号 掲載広告（五十音順）

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> インタフェース …………… 表2対向     | <input type="checkbox"/> 日本マイクロソフト …………… 表3 |
| <input type="checkbox"/> 情報処理推進機構…………… 同封       | <input type="checkbox"/> 日立製作所…………… 表4      |
| <input type="checkbox"/> ソニービジネスソリューション…………… 同封 | <input type="checkbox"/> フォーラムエイト …………… 目次前 |
| <input type="checkbox"/> 東京工業大学…………… 表2         |   |
| <input type="checkbox"/> とめ研究所…………… 前付最終上       |   |
| <input type="checkbox"/> 日経BP社…………… 同封          | <input type="checkbox"/> すべての会社を希望          |

■ 資料送付先

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

勤務先 \_\_\_\_\_ 所属部署 \_\_\_\_\_

所在地 (〒 \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

TEL ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ FAX ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_

ご専門の分野 \_\_\_\_\_



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも  
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp) Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

**MITSUBISHI**  
Changes for the Better

三菱電機 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ピー・エム (株)

### ●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

**Google**

グーグル (株)

**GREE**

グリー (株)

**NTT docomo**

(株) NTT ドコモ

**NTT**

日本電信電話 (株)

**Microsoft**

日本マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

**NTT Data**

NTT データ (株)



NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

**OKI**

沖電気工業 (株)

**楽R天**

楽天 (株)

**JISA**

情報サービス産業協会

**uejima**

(株) うえじま企画

**SANBI**

三美印刷 (株)

**SONY**

ソニー (株)

**Panasonic**

パナソニック (株)

**Plat'Home**

ぶらっとホーム (株)